

第5章

介護サービス等に係る 費用の見込みと介護保険料

第5章 介護サービス等に係る費用の見込みと介護保険料

1 介護（予防）給付費の見込み

利用人数や利用回数の見込み量等から算出した、今後の介護（予防）サービスの給付費の見込額は次のとおりです。

■ 介護給付費の見込額

単位：千円

| 区分 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 | 令和8(2026)年度 |
|----------------------|------------------|------------------|------------------|
| 【居宅サービス】 | | | |
| 訪問介護 | 226,843 | 238,628 | 250,346 |
| 訪問入浴介護 | 19,731 | 20,432 | 21,606 |
| 訪問看護 | 90,764 | 95,553 | 100,158 |
| 訪問リハビリテーション | 38,868 | 42,990 | 47,030 |
| 居宅療養管理指導 | 29,826 | 31,864 | 33,863 |
| 通所介護 | 1,249,288 | 1,296,773 | 1,357,659 |
| 通所リハビリテーション | 78,621 | 80,293 | 81,865 |
| 短期入所生活介護 | 146,374 | 148,731 | 151,012 |
| 短期入所療養介護（老健） | 3,665 | 3,669 | 3,669 |
| 短期入所療養介護（病院等） | 0 | 0 | 0 |
| 短期入所療養介護（介護医療院） | 0 | 0 | 0 |
| 福祉用具貸与 | 159,195 | 164,207 | 169,165 |
| 特定福祉用具購入費 | 7,857 | 8,589 | 9,320 |
| 住宅改修費 | 10,511 | 11,472 | 11,472 |
| 特定施設入居者生活介護 | 146,664 | 153,884 | 160,918 |
| 居宅介護支援 | 252,942 | 259,264 | 265,266 |
| 【地域密着型サービス】 | | | |
| 定期巡回・随時対応型訪問介護看護 | 0 | 0 | 0 |
| 夜間対応型訪問介護 | 0 | 0 | 0 |
| 地域密着型通所介護 | 45,330 | 46,782 | 48,177 |
| 認知症対応型通所介護 | 3,746 | 3,751 | 3,751 |
| 小規模多機能型居宅介護 | 99,994 | 102,213 | 104,306 |
| 認知症対応型共同生活介護 | 492,386 | 502,215 | 502,215 |
| 地域密着型特定施設入居者生活介護 | 0 | 0 | 0 |
| 地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護 | 0 | 0 | 0 |
| 看護小規模多機能型居宅介護 | 43,443 | 50,039 | 60,661 |
| 【施設サービス】 | | | |
| 介護老人福祉施設 | 1,226,053 | 1,247,731 | 1,267,332 |
| 介護老人保健施設 | 691,662 | 709,702 | 726,867 |
| 介護医療院 | 305,794 | 319,786 | 333,391 |
| 介護給付費計 | 5,369,557 | 5,538,568 | 5,710,049 |

資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

■ 介護予防給付費の見込額

単位：千円

| 区 分 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 | 令和8(2026)年度 |
|------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 【介護予防サービス】 | | | |
| 介護予防訪問入浴介護 | 276 | 277 | 277 |
| 介護予防訪問看護 | 15,643 | 15,948 | 16,193 |
| 介護予防訪問リハビリテーション | 10,713 | 11,389 | 12,052 |
| 介護予防居宅療養管理指導 | 2,959 | 3,189 | 3,415 |
| 介護予防通所リハビリテーション | 38,270 | 39,099 | 39,880 |
| 介護予防短期入所生活介護 | 2,363 | 2,366 | 2,366 |
| 介護予防短期入所療養介護（老健） | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防短期入所療養介護（病院等） | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防短期入所療養介護（介護医療院） | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防福祉用具貸与 | 37,509 | 38,248 | 38,695 |
| 介護予防特定福祉用具購入費 | 2,957 | 3,272 | 3,611 |
| 介護予防住宅改修 | 7,795 | 7,795 | 8,972 |
| 介護予防特定施設入居者生活介護 | 2,886 | 3,513 | 4,531 |
| 介護予防支援 | 27,418 | 27,907 | 28,360 |
| 【地域密着型介護予防サービス】 | | | |
| 介護予防認知症対応型通所介護 | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防小規模多機能型居宅介護 | 5,381 | 5,388 | 5,388 |
| 介護予防認知症対応型共同生活介護 | 16,883 | 16,904 | 16,904 |
| 介護予防給付費計 | 171,053 | 175,295 | 180,644 |

資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

2 介護サービス等に係る費用の見込み

総給付費に、特定入所者介護サービス費等給付額、高額介護サービス費等給付額、高額医療合算介護サービス費等給付額、算定対象審査支払手数料を加えた標準給付費見込額は、次のとおりです。

■ 標準給付費見込額

単位：千円

| 項 目 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 | 令和8(2026)年度 |
|-------------------|------------------|------------------|------------------|
| 総給付額 | 5,540,610 | 5,713,863 | 5,890,693 |
| 特定入所者介護サービス費等給付額 | 118,363 | 122,069 | 125,732 |
| 高額介護サービス費等給付額 | 110,411 | 114,988 | 119,588 |
| 高額医療合算介護サービス費等給付額 | 11,490 | 11,950 | 12,428 |
| 算定対象審査支払手数料 | 3,927 | 4,124 | 4,330 |
| 標準給付費見込額① | 5,784,801 | 5,966,994 | 6,152,771 |

※単位未満は四捨五入により端数処理しているため、合計が合わないことがあります。

資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

介護サービス等に係る費用の見込みと介護保険料 第5章

3 地域支援事業費、保健福祉事業費の見込み

利用人数や実施回数の見込み量等から算出した、今後の地域支援事業費、保健福祉事業費の見込額は次のとおりです。

■ 地域支援事業費の見込額

単位：千円

| 項目 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 | 令和8(2026)年度 |
|---------------------------------------|----------------|----------------|----------------|
| 【介護予防・日常生活支援総合事業】 | | | |
| 訪問介護相当サービス | 28,000 | 27,000 | 27,000 |
| 訪問型サービスA | 400 | 570 | 684 |
| 訪問型サービスB | 800 | 800 | 800 |
| 訪問型サービスC | 1,488 | 1,786 | 2,143 |
| 訪問型サービスD | 0 | 0 | 0 |
| 訪問型サービス(その他) | 0 | 0 | 0 |
| 通所介護相当サービス | 129,381 | 128,000 | 128,000 |
| 通所型サービスA | 6,200 | 7,600 | 9,000 |
| 通所型サービスB | 0 | 0 | 0 |
| 通所型サービスC | 1,248 | 1,498 | 1,797 |
| 通所型サービス(その他) | 0 | 0 | 0 |
| 栄養改善や見守りを目的とした配食 | 0 | 0 | 0 |
| 定期的な安否確認、緊急時の対応、住民ボランティア等の見守り | 0 | 0 | 0 |
| その他、訪問型サービス・通所型サービスの一体的提供等 | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防ケアマネジメント | 16,067 | 16,600 | 17,700 |
| 介護予防把握事業 | 0 | 0 | 0 |
| 介護予防普及啓発事業 | 17,032 | 15,000 | 10,000 |
| 地域介護予防活動支援事業 | 867 | 400 | 400 |
| 一般介護予防事業評価事業 | 0 | 0 | 0 |
| 地域リハビリテーション活動支援事業 | 548 | 600 | 600 |
| 上記以外の介護予防・日常生活総合事業 | 0 | 0 | 0 |
| 【包括的支援事業(地域包括支援センターの運営)及び任意事業】 | | | |
| 包括的支援事業 (地域包括支援センターの運営) | 80,258 | 80,258 | 80,258 |
| 任意事業 | 18,129 | 20,000 | 20,000 |
| 【包括的支援事業(社会保障充実分)】 | | | |
| 在宅医療・介護連携推進事業 | 13,386 | 13,000 | 13,000 |
| 生活支援体制整備事業 | 28,019 | 28,000 | 28,000 |
| 認知症初期集中支援推進事業 | 315 | 100 | 100 |
| 認知症地域支援・ケア向上事業 | 15,243 | 16,000 | 16,000 |
| 認知症サポーター活動促進・地域づくり推進事業 | 212 | 100 | 100 |
| 地域ケア会議推進事業 | 413 | 413 | 413 |
| 地域支援事業費計② | 358,006 | 357,724 | 355,995 |

※単位未満は四捨五入により端数処理しているため、合計が合わないことがあります。

資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

■ 保健福祉事業費の見込額

単位：千円

| 項目 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 | 令和8(2026)年度 |
|-------------------|---------------|---------------|---------------|
| 高齢者等配食サービス | 13,6710 | 13,671 | 13,671 |
| 通院・外出支援(付き添い)サービス | 200 | 200 | 200 |
| 在宅介護支援金支給事業 | 12,053 | 12,489 | 12,668 |
| 保健福祉事業費計③ | 25,924 | 26,360 | 26,539 |

※単位未満は四捨五入により端数処理しているため、合計が合わないことがあります。

※保健福祉事業…第1号被保険者の保険料を財源として、要介護・要支援認定者だけでなく、被保険者全体や家族等の介護者も対象として実施する事業です。

資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

4 標準給付費等の見込み

標準給付費の見込額に、地域支援事業費及び保健福祉事業費の見込額を加えた見込額については次のとおりです。

■ 標準給付費等見込額

単位：千円

| 項目 | 令和6(2024)年度 | 令和7(2025)年度 | 令和8(2026)年度 |
|-----------|------------------|------------------|------------------|
| 標準給付費① | 5,784,801 | 5,966,994 | 6,152,771 |
| 地域支援事業費② | 358,006 | 357,724 | 355,995 |
| 保健福祉事業費③ | 25,924 | 26,360 | 26,539 |
| 合計 | 6,168,731 | 6,351,078 | 6,535,305 |

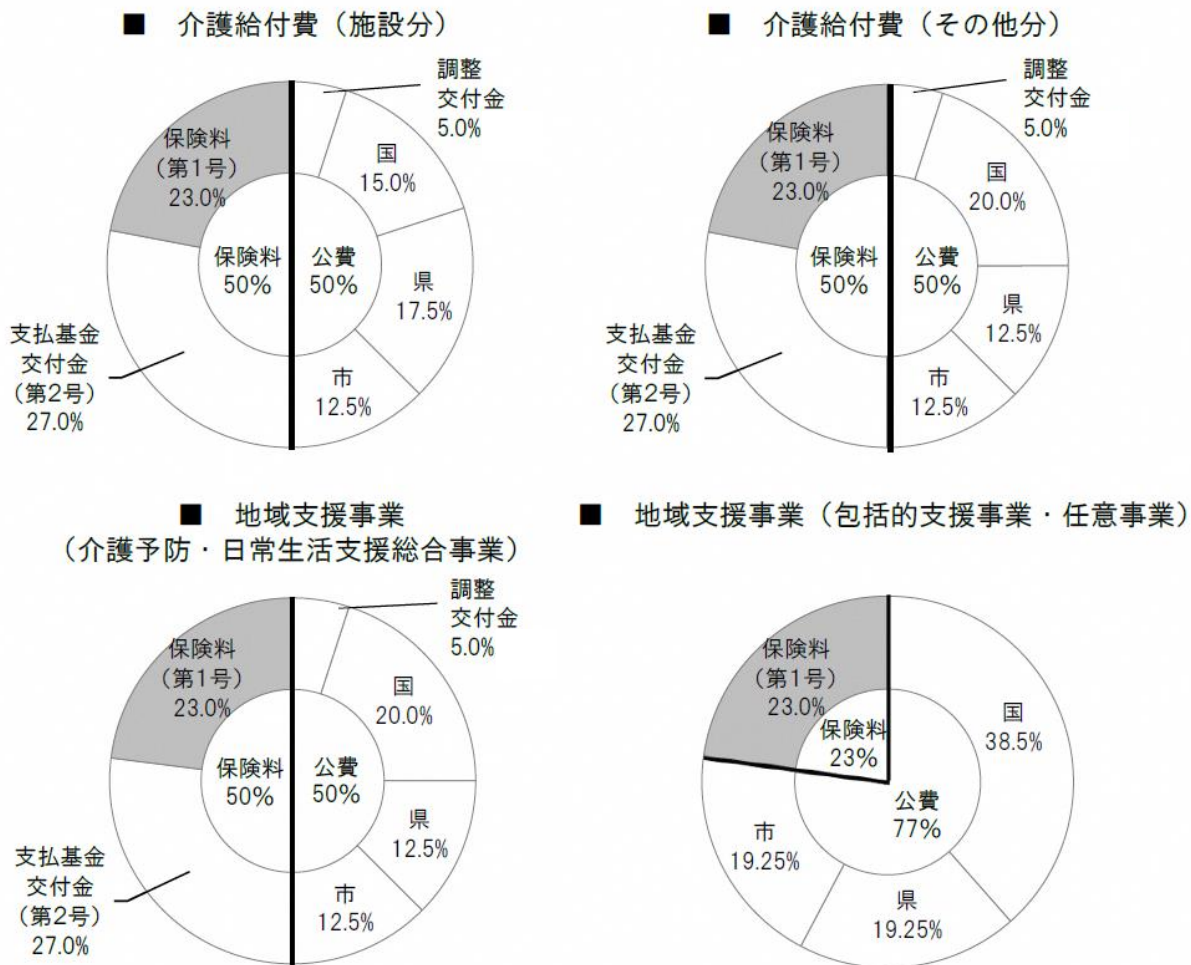
資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

5 第1号被保険者の保険料

(1) 費用負担の概要

介護保険制度においては、介護保険事業にかかる費用のうち、1割から3割までの利用者負担を除いた費用の財源割合が介護保険法によって定められており、原則として50%を被保険者の保険料、50%を公費とされています。また、被保険者の保険料のうち、本計画期間は原則として23%を第1号被保険者、27%を第2号被保険者が賄うことになります。

なお、保健福祉事業については、100%を第1号被保険者の保険料で賄います。



(2) 保険料基準額の算出

介護保険事業は、市町村が保険者となり、事業を運営します。

第1号被保険者の保険料については、介護サービス量等の見込みに応じてそれぞれの保険者で決定します。なお、介護保険制度では、3年を1期として介護保険事業計画を策定し、保険料についても、原則として3年間同額とされています。

介護給付費等の推計を基に算定した保険料基準額（月額）は、次のとおりです。

■ 保険料基準額の算出

| 項目 | 金額 |
|---|---------------------|
| 標準給付費+地域支援事業費計（A） | 18,976,291 千円 |
| 第1号被保険者負担分相当額（B） | 4,364,547 千円 |
| 調整交付金相当額（C） | 925,229 千円 |
| 調整交付金見込額（D） | 55,711 千円 |
| 介護給付費準備基金取崩額（E） | 270,000 千円 |
| 保健福祉事業費（F） | 78,823 千円 |
| 保険者機能強化推進交付金等の交付見込額（G） | 68,000 千円 |
| 保険料収納必要額 (H) = (B) + (C) - (D) - (E) + (F) - (G) | 4,974,888 千円 |

| 項目 | 金額 |
|---|----------------|
| 保険料収納必要額（H） | 4,974,888 千円 |
| 予定保険料収納率（I） | 99.0% |
| 所得段階別加入割合補正後被保険者数（J） | 73,469 人 |
| 第1号被保険者の保険料基準額（月額）（K） (K) ≐ (H) ÷ (I) ÷ (J) ÷ 12 | 5,700 円 |

※調整交付金…保険給付及び介護予防・日常生活支援総合事業にかかる費用の国庫負担のうち5%とされていますが、各市町村の後期高齢者の割合や第1号被保険者の所得状況の分布などを全国平均と比較して算出されます。今計画の袋井市の交付率は5%未満となっており、差引負担分は第1号被保険者の保険料収納必要額に上乘せされます。

資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

(3) 介護サービス等に係る費用と介護保険料水準の推計

高齢化の進展による要介護（要支援）認定者の増加やサービス利用回数の増加などにより、令和12年度、令和22年度には介護保険事業に係る費用や介護保険料水準は大幅に上昇することが見込まれます。

■ 介護サービス等に係る費用と介護保険料水準の推計

| | 第8期 | | | 第9期（本計画） | | | 第11期 | 第14期 |
|----------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|---------------------|----------------------|----------------------|
| | 令和3 (2021) 年度 | 令和4 (2022) 年度 | 令和5 (2023) 年度 | 令和6 (2024) 年度 | 令和7 (2025) 年度 | 令和8 (2026) 年度 | 令和12 (2030) 年度 | 令和22 (2040) 年度 |
| 総費用額 | 55.6 億円 | 56.7 億円 | 58.3 億円 | 61.7 億円 | 63.5 億円 | 65.4 億円 | 73.3 億円 | 88.9 億円 |
| 介護保険料 (基準額) | 5,100円 | | | 5,700円 | | | 6,700円 程度 | 7,500円 程度 |

※総費用額…標準給付費、地域支援事業費、保健福祉事業費の合計
令和5年度以降は見込です。

資料：地域包括ケア「見える化」システム将来推計

(4) 所得段階別の保険料

第1号被保険者の保険料は、所得段階に応じて異なります。本市では、令和6年度から令和8年度までの介護保険料を所得段階に応じて14段階に分け、次のとおり定めます。

■ 所得段階別の保険料

| 所得段階 | 対象者要件 | 負担割合 | 年額保険料 |
|-------|--|------------------|--------------------|
| 第1段階 | ・生活保護の受給者 ・老齢福祉年金受給者で、世帯全員が市民税非課税の方 ・世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額+合計所得金額が80万円以下の方 | 0.455 (0.285) | 31,100 (19,400) |
| 第2段階 | 世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額+合計所得金額が80万円を超え、120万円以下の方 | 0.685 (0.485) | 46,800 (33,100) |
| 第3段階 | 世帯全員が市民税非課税で、本人の課税年金収入額+合計所得金額が120万円を超える方 | 0.69 (0.685) | 47,100 (46,800) |
| 第4段階 | 本人が市民税非課税で世帯内に市民税課税者がいる方で、本人の課税年金等収入額+合計所得金額が80万円以下の方 | 0.9 | 61,500 |
| 第5段階 | 本人が市民税非課税で世帯内に市民税課税者がいる方で、本人の課税年金等収入額+合計所得金額が80万円を超える方 | 1.0 | 68,400 |
| 第6段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が120万円未満の方 | 1.2 | 82,000 |
| 第7段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が120万円以上210万円未満の方 | 1.3 | 88,900 |
| 第8段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が210万円以上320万円未満の方 | 1.5 | 102,600 |
| 第9段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が320万円以上420万円未満の方 | 1.7 | 116,200 |
| 第10段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が420万円以上520万円未満の方 | 1.9 | 129,900 |
| 第11段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が520万円以上620万円未満の方 | 2.1 | 143,600 |
| 第12段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が620万円以上720万円未満の方 | 2.3 | 157,300 |
| 第13段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が720万円以上1,000万円未満の方 | 2.4 | 164,100 |
| 第14段階 | 本人が市民税課税で、合計所得金額が1,000万円以上の方 | 2.6 | 177,800 |

※課税年金収入額

課税対象となる老齢（退職）年金のことで、遺族年金・障害年金は含まれません。

※合計所得金額①（第6～第14段階）

収入金額から必要経費に相当する額（収入の種類により計算方法が異なります）を控除した金額の合計のことで、所得控除（扶養控除、医療費控除等）や、損失の繰越控除をする前の金額です。なお、長期譲渡所得及び短期譲渡所得に係る特別控除の適用がある場合には、その額を控除した後の金額です。

※合計所得金額②（第1～第5段階）

合計所得金額①から、年金収入に係る所得を控除した後の金額です。

※（ ）は公費による保険料軽減後の負担割合・年額保険料になります。

(5) 低所得者への支援

■ 現況

- ・介護保険料については、所得段階を11段階に設定し、負担能力に応じた段階設定としています。
- ・介護サービス利用者負担については、軽減措置を実施し、低所得者に過大な負担とならないよう配慮しています。

■ 課題

- ・要介護（要支援）認定者の増加に伴い介護サービス利用者は増加しており、介護保険料や介護サービス利用者負担が過大な負担とならないよう、今後も負担能力に応じた軽減が必要となります。

■ 今後の方向性

ア 介護保険料の軽減等

所得の低い方で国の定める範囲に該当する段階の方について、公費による保険料軽減が実施され、国の示す軽減割合に従い保険料を軽減します。

また、震災、風水害、火災、農作物の不作など、財産や収入が著しく減少した場合には、減少の程度等に応じて減免を行います。

国の示す軽減割合について

第1号被保険者の保険料について、給付費の5割の公費とは別枠で公費を投入し、低所得の高齢者の保険料を軽減します。

【市町村民税非課税世帯全体を対象として実施】

| 保険料の所得段階 | 保険料基準額に対する割合 | ※公費負担割合 |
|----------|---------------|----------|
| 第1段階 | 0.455 ⇒ 0.285 | 国 1/2 |
| 第2段階 | 0.685 ⇒ 0.485 | 都道府県 1/4 |
| 第3段階 | 0.69 ⇒ 0.685 | 市町村 1/4 |

イ 介護サービス利用者負担の軽減

1) 特定入所者介護サービス費等の支給

施設サービス、短期入所サービスの食費と居住費（滞在費）は、利用者負担段階区分に応じて負担限度額が定められています。国が定める基準費用額と負担限度額の差額を特定入所者介護サービス費等として支給します。

2) 社会福祉法人による利用者負担の軽減

収入が世帯で一定の基準以下等の条件を満たした方に対し、社会福祉法人が提供する介護サービスの利用者負担額を軽減します。

3) 高額介護サービス費等の支給

介護サービスの利用者が支払う1割から3割までの利用者負担が所得段階ごとに定められた上限額を超えた場合、超えた分を高額介護（介護予防）サービス費として支給します。

また、介護と医療それぞれの負担が長期間にわたり重複する世帯では、高額介護（介護予防）サービス費を支給してもなお重い負担が残るため、世帯の1年間の介護と医療の負担額を合算した額が所得段階に応じた負担限度額を超えた場合、超えた分を高額医療合算介護（介護予防）サービス費として支給します。